

# 航空自衛隊創設70周年記念キャッチフレーズ及びロゴマークについて

## ○ キャッチフレーズ

### 『大空とその先へ』

説明：航空宇宙自衛隊への進化及び爽やかでチャレンジ精神旺盛な航空自衛隊のイメージを連想させるシンプルで親しみやすいフレーズで構成。

「大空」は、人類が空に思い描く、夢、希望といった好意的なイメージを強く印象付け、「その先へ」により引き続き挑戦を続けていく意思を表現した。

さらに、フレーズ全体を俯瞰すれば宇宙領域の暗喩となっており、我々、航空自衛隊の任務領域の拡大に対する決意を示している。

## ○ ロゴマーク



航空自衛隊が守る新領域の「宇宙」を背景とし、線は、サイバー及び電磁波、各装備品との連結性を表現。その一つに60周年以降に装備化された装備品F-35を描き、この10年の航空自衛隊の進化を表現した。また、右上に伸びる線は、航空自衛隊がこの10年、国緊、在外邦人の輸送等各方面、各国で活躍していることを表現し、日本及び世界の平和に向けての連携を意図した。

地図上の点は、空幕、総隊、支援集団、教育集団、開発集団、大臣直轄、補本を、また防衛力の根本的強化の七つの分野を表現。日本地図は航空自衛隊が守る国民を表すとともに、航空作戦の中核となる航空方面隊司令部所在地に四つの点を配置して、国民に寄り添い、我が国の空を守る決意を表現した。

文字部分については、70の文字の中で、「7」は航空自衛隊の編成及び防衛力の根本的強化の七つの分野を表し、「0」は任務領域が宇宙へ拡大する様子を地球と地球を取り囲む衛星、月、星空で表現した。70の右側の四つの点は、空（大きな点）と三つの新領域（宇宙、サイバー、電磁波）を表現。航空自衛隊の表記は、防衛交流等で認知度が向上している「KOKU JIEITAI」にすることにより、航空自衛隊のスマートさを印象付けることを意図している。